

十和田市 議会だより

No.82

3月定例会号

一般質問 (P4～11)



妊娠を望む方への支援拡充



合葬墓の予定埋葬数



上十三まるとネット



市道焼山線の整備状況



デジタル教科書導入後の課題



中心市街地活性化の取組



ブックスタート事業の再開



不登校特例校の設置



旧十和田湖小学校の土地活用



保育料無償化の実施時期



(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業



公共交通の財政負担軽減



人口減少社会での財政運営



保育料の完全無償化



市長公約の実行計画

目次

議案審議の状況等	P2
令和7年度予算審査等	P3
市議会・市民との意見交換会	P11
常任委員会・議会運営委員会 委員改選について等	P12

官庁街通り

(夜桜のライトアップ)

議案審議の状況

3月定例会

令和7年第1回定例会は、2月25日から3月18日まで22日間の会期で開かれました。十和田市総合開発審議会条例の一部を改正する条例の制定など、議案27件（発議2件を含む）、報告3件、同意5件が上程され、原案のとおり可決されました。

土地改良区及び水利組合等に対し 電気料高騰分の一部を補助 可決

◆対象経費

令和6年4月から令和7年2月までの農業水利施設の維持管理に要する電気料と、令和3年度の同期間の実績の差額

◆補助率

土地改良区：4分の1
水利組合等：2分の1



消防ポンプ自動車を 購入します 可決

十和田市消防団（第10分団1部休屋）に配備する消防ポンプ自動車1台を購入します。

◆取得価格

3,399万円

◆納入期限

令和8年2月27日



本会議・各委員会の議員出欠状況

令和6年第4回定例会終了後から令和7年第1回定例会まで ※「○」は出席、「×」は欠席、「－」は所属外

日付	議員名 (議席順)	会議名	山端美樹子	小山田剛士	太田正幸	竹島直樹	笹淵峰尚	山田洋子	今泉信明	中嶋秀一	中尾利香	小笠原良子	山端博	氣田量子	齊藤重美	久慈年和	江渡信貴	堰野端展雄	工藤正廣	小川洋平	豊川泰市	戸来伝	石橋義雄	出席人数
			山端美樹子	小山田剛士	太田正幸	竹島直樹	笹淵峰尚	山田洋子	今泉信明	中嶋秀一	中尾利香	小笠原良子	山端博	氣田量子	齊藤重美	久慈年和	江渡信貴	堰野端展雄	工藤正廣	小川洋平	豊川泰市	戸来伝	石橋義雄	出席人数
1月10日(金)	総務文教常任委員会		－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	○	－	－	○	×	－	6
2月28日(金)			－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	○	－	－	×	○	－	6
3月18日(火)			○	－	－	○	○	－	－	－	－	○	－	－	－	○	○	－	○	－	－	－	－	7
1月22日(水)	観光建設常任委員会		－	－	－	○	○	－	－	－	－	○	－	－	－	○	○	－	○	×	－	－	－	6
3月 3日(月)			－	－	－	○	○	－	－	－	－	○	－	－	－	○	○	－	○	○	－	－	7	
3月18日(火)			－	○	－	－	－	○	○	○	○	－	○	－	○	－	－	－	－	○	○	－	7	
1月22日(水)	民生福祉常任委員会		○	－	－	○	－	－	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6	
2月28日(金)			○	－	－	○	－	－	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	6		
3月18日(火)			－	－	○	－	－	○	－	－	－	－	○	－	－	－	×	－	○	○	－	5		
2月 4日(火)	議会運営委員会		○	－	－	－	－	○	○	○	－	－	○	－	○	－	－	○	－	○	－	－	○	9
2月19日(水)			○	－	－	－	－	○	○	○	－	－	○	－	○	－	－	○	－	○	－	－	○	9
①2月25日(火)			○	－	－	－	－	○	○	○	－	－	○	－	○	－	－	○	－	○	－	－	○	9
②2月25日(火)			○	－	－	－	－	○	○	○	－	－	○	－	○	－	－	○	－	○	－	－	○	9
3月14日(金)			○	－	－	－	－	○	○	○	－	－	○	－	○	－	－	○	○	○	－	－	○	10
①3月18日(火)			○	－	－	－	－	○	○	○	－	－	×	－	○	－	－	×	○	○	－	－	○	8
②3月18日(火)			○	－	－	－	－	○	○	○	－	－	○	－	○	－	－	×	○	○	－	－	○	9
③3月18日(火)		－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	○	○	○	○	×	○	－	－	○	－	7	
3月 3日(月)	議会改革特別委員会		○	－	○	－	－	○	－	○	○	－	－	－	－	－	○	○	－	－	×	－	7	
2月25日(火)	第1回定例会（開会）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
3月 7日(金)	第1回定例会（一般質問①）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	20
3月10日(月)	第1回定例会（一般質問②）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21
3月11日(火)	第1回定例会（一般質問③）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	20
3月18日(火)	第1回定例会（閉会）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	20
3月12日(水)	予算審査特別委員会		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
3月14日(金)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21

令和7年度一般会計当初予算 394億1,000万円を可決!

前年度当初比12億2,000万円(約3.2%)増加

令和7年度の一般会計、特別会計、企業会計の各予算は、全議員で構成される予算審査特別委員会による審査を経て、本会議で可決されました。事業の一部をお知らせします。

物価高騰対策 十和田市民応援券発行事業 2億7,803万1千円



市内各店舗等で利用できる商品券を
1人当たり4千円分発行します。

キッズパーク運営支援事業 100万円



天候に左右されず遊ぶことのできる屋内
の遊び場「キッズパーク」を運営する団体
に対し、運営費の一部を補助します。

予算審査特別委員会での主な質疑

防犯カメラ設置事業

問 3か所の設置場所の選定理由は。

答 十和田警察署と協議し、選定しました。

問 通学路への設置状況は。

答 小中学校周辺の
道路や交差点に設
置しています。



除雪業務

問 除雪業務の出動基準は。

答 概ね10cm以上の積雪で出動することにな
っていますが、工区によって、業者の判断
により出動することもあります。



賛否が分かれた議案等の審議結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退出、「－」は議長(原則、表決に加わりません。)
「除」は除斥(審議案件と一定の利害関係を有するため、審議に参加することができない者)

議案 番号	議員名 (議席順)	山 端	小 山	太 田	竹 島	笹 渕	山 田	今 泉	中 嶋	中 尾	小 笠 原	山 端	氣 田	齊 藤	久 慈	江 渡	堰 野	工 藤	小 川	豊 川	戸 来	石 橋	審 議 結 果
議案名	議案名	美 樹 子	剛 士	正 幸	直 樹	尚 子	洋 子	信 明	秀 一	利 香	良 子	博 子	量 子	重 美	年 和	貴 雄	展 雄	正 廣	洋 平	泰 市	伝 義	雄 義	議 果
請願 第6-2号	再生可能エネルギーと地域・自然との共生に係る県条例への保護地域・保全地域拡大の追加意見提出に関する請願	○	○	×	×	○	×	×	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	－	趣 旨 採 択
議案 第17号	令和7年度十和田市病院事業会計予算	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	×	－	可 決
発議 第2号	議案第17号令和7年度十和田市病院事業会計予算に対する附帯決議	○	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	×	○	○	×	－	可 決
同意 第3号	十和田市副市長の選任について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	×	－	同 意
同意 第5号	十和田市監査委員の選任について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	×	－	同 意



山端 美樹子
(自民公明クラブ)

妊娠を望む方への支援拡充を

早期実現に向けて取り組む

問 妊娠前検査（不妊検査）に対する経済的支援について、市の取組は。

答 妊娠しにくい原因などを調べる不妊検査に対する経済的支援は行っていないが、妊娠を希望する方と家族に対し、風疹抗体検査及び風疹含有ワクチンの接種費用助成を行っています。

問 不育症に対する市の取組は。

答 不育症に関する相談に対し、県の不育症検査費用助成事業や、具体的な助言が得られるよう不妊専門相談センターを紹介しているほか、不育症と思われる方を把握した場合は、担当の妊産婦指導員が医療機関等と連携して受診につなげるなど、寄り添い型の支援を行っています。

問 不妊症や不育症治療には市外に通院しなければならないため、通院費用を助成する考えは。

答 今後検討していきます。

問 不妊治療と仕事の両立支援について、企業と市の関わりは。

答 市ホームページにおいて、不妊治療と仕事の両立支援に関する情報提供を行っています。企業における職場づくりが今後ますます重要になると考えていることから、市内企業等に対し、機会を捉えて普及啓発に努めていきます。

問 妊娠を望む方への支援を拡充する考えは。

答 どのような支援が必要か、また、効果的かを情報収集し検討している状況であり、予算を含めた事業の制度設計を進め、早期実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

問 ひとり親家庭や低所得子育て世帯等の子供に対する学習支援として、大学等受験料や模試受験料の助成を行う考えは。

答 有効な支援であると認識しており、事業効果等を検証し、実施について検討していきます。



小山田 剛 士
(黎明親和会)

中心市街地活性化に向けた取組は

実現可能な提案は 支援を惜しまない

問 中心市街地活性化に向けた現在の取組と今後の方針は。

答 平成31年に国の認定を受けた中心市街地活性化計画により、中心市街地の魅力向上と都市機能の強化を図ってきましたが、新型コロナウイルスの影響により、民間事業者の取組の多くが実施に至らず、計画策定時から大幅な改善は見られませんでした。商店街関係者と一体となって活性化に向けた取組を進めていく必要があると考えており、現在、中心市街地活性化協議会では、商店街の将来像を具現化するエリアビジョンの作成を目指したワークショップを行っています。この中で具体的な提案がなされた際は、実現可能なものは支援を惜しむことなく、にぎわいと魅力あふれる中心市街地づくりに取り組んでいきたいと考えています。

問 2020年に国が創設したほこみち（歩行者利便増進道路）制度は、道路管理者がほこみちとして指定する道路の歩道上にオープンカフェやベンチなどの設置が可能となり、歩道の柔軟な利活用が進むと考える。市が主体となり、ほこみち制度を活用して事業を行う考えは。

答 制度は承知していますが、今後、具体的な内容等について調査研究していきます。

問 飲食店などを営む方が自店舗前の歩道を活用し、商売をすることは可能か。

答 歩道内の道路占用の許可は、それぞれの道路管理者が規定により行っており、市では秋まつりなどの市が主催、共催、後援するイベントに限り許可しています。他自治体では、地域の活性化やにぎわい創出等の観点から、道路の占用について弾力的な運用を行っている事例もあることから、今後調査研究をしていきたいと考えています。



太田 正幸
(立憲農民クラブ)

(仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業 今後の方向性は

計画を見直す必要があると認識

問 (仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業に関する今後の方向性は。

答 景観、自然環境等に対する影響を懸念する地域の声大きい状況の中、事業実施は極めてハードルが高いと考えており、事業者が計画を見直す必要があると認識しています。

問 令和6年第4回定例会において、旧新渡戸記念館所蔵資料の早期所有権確定を求める決議を全会一致で決議したが、調停内容の実行性は。

答 先般の市議会における決議を重く受け止め、引き続き法的措置も含め、あらゆる方法を検討していきたいと考えています。

問 中央病院経営に関する今後の方向性は。

答 現在の経営状況では、令和7年度決算において国等へ経営健全化計画提出の基準である資金不足比率が20%を超えることになるため、これを緊急事態として捉え全職員に周知するとともに、経営形態の検討や経営改善に資するプロジェクトの実施等を行い、経営改善に努めていきます。

問 伝統芸能等を市民みんなで保存、継承するため条例化するなど、明文化する考えは。

答 新たに明文化する予定はありませんが、伝統芸能等は重要な文化財と認識しており、今後も引き続き保存と継承に取り組んでいきます。

問 市内循環バスの西地区シャトルバスを休屋地区、焼山地区まで延伸する考えは。

答 民間バス事業者と競合すること、観光客の乗車により定員を超える乗車が予想されること、現行の運賃100円では市の負担が大き過ぎることなどの理由から、実施の予定はありません。



中嶋 秀一
(自民公明クラブ)

合葬墓予定埋蔵数 いつ頃に達する見込みか

約8年後を見込んでいる

問 合葬墓の運用開始から1年が経つが、当初の予定より埋蔵数が多いと聞く。現在の利用状況が続いた場合、予定埋蔵数に達するのはいつ頃の見込みか。

答 年間20件の申請を見込み、埋蔵数は1,000体を想定して設置したのですが、埋蔵を許可した焼骨の使用率は27.1%（令和7年2月末現在）となっており、直近1年間の許可件数の月平均8件を基に、今後同じように毎年96件の申請があったと仮定した場合、約8年後に使用率が100%となる見込みです。

問 十和田消防本部が提供している災害情報テレホンガイドは、火災発生場所等の情報を詳細に発信していることから、市LINE公式アカウントでもその情報を発信してほしいとの市民の声を聞くが、市の考えは。

答 共同運用している上十三消防指令センターのシステム改修が必要となることから、今後関係機関とシステム改修が可能かどうかの協議を行ってきたいと考えています。

問 DMO(十和田奥入瀬観光機構)の役割は。

答 当市の観光振興の中心的な存在であり、観光客に食事、買物、体験型アクティビティなどで消費を促し、その経済効果を地域へ波及させる「地域が稼げる仕組みをつくる」ことが大きな役割となっています。

問 ふるさと納税の年間目標額の設定をしているのか。

答 前年の実績に応じ精査し、伸び率を加味した金額を基に設定しており、令和7年度は1億7,000万円を目標に取り組んでいきます。



氣田 量子
(自民公明クラブ)

赤ちゃんへの絵本プレゼント ブックスタート事業の再開を

効果的な支援を検討する

問 赤ちゃんへ絵本を贈るブックスタート事業は、赤ちゃんが絵本に親しむ機会が得られ親子の絆が深まると同時に、絵本を通じた心の育成が進むと考える。事業を再開する考えは。

答 関係機関と連携を図りながら、絵本のプレゼントを含め効果的な支援について検討します。

問 東・西・南コミュニティセンターの指定管理運営では、指定管理者の営業努力で得た収益が次年度の予算から差し引かれる仕組みのため、収益向上の意欲がそがれ、運営の質の向上につながりにくい。制度の見直しが必要ではないか。

答 自主的な経営努力による利益分を除かないよう、インセンティブの確保に努めています。

問 町内会長などが集まった地域コミュニティによる運営は初めてのため税に対する知識が少なく、社会保険労務士や税理士費用等が運営を圧迫している。適切な費用配分が必要では。

答 社会保険労務士等の経費は指定管理者の判断で依頼しているものと考えられるため指定管理料の積算には含まれませんが、令和7年度から新たに人件費の3%分を間接経費として加算するため、こちらを活用できると考えています。

問 次の契約までに指定管理者としっかり話し合い、柔軟な契約や予算配分を検討できないか。

答 情報交換を密にし、効率的な運営と市民サービスの向上に努めます。

問 医療費抑制のため、発症リスクが増加傾向となる50歳から64歳の方に対し、带状疱疹ワクチン接種費用の半額助成を行う考えは。

答 带状疱疹後神経痛の発症は70代以降で増加するとの報告があり、50歳から64歳の方への助成は考えていませんが、定期接種対象者が安く接種できる機会を逃さぬよう、周知に努めます。



笹 渕 峰 尚
(黎明親和会)

公共交通に対する 財政負担軽減の取組は

駒らんパスの在り方や 料金の見直しが必要

問 十和田市地域公共交通計画の進捗状況は。

答 今年度の状況は、市街地循環バス利用者は増加の一方、路線バス利用者は減少し、年間利用客数は目標75.8万人に対し69.5万人の見込みです。料金設定の見直しや駒らんパス発行により、まちなか交通広場の日平均利用者数は目標100人に対し217人の見込みで、平均乗車密度は11路線中10路線が上昇見込みです。また、路線バス収支率は43.6%、公共交通への市の財政負担投入額は1億2,300万円の見込みです。

問 公共交通に対する今後の財政負担の予想は。

答 利用者の減少に伴う運賃収入の減少等により、財政負担は増える見込みです。

問 財政負担を軽減するための取組は。

答 路線バス事業では、利用者が減少している路線の減便等を行っているほか、市街地循環バスでは、運賃無料乗車証「駒らんパス」の在り方や料金の見直しも今後必要と考えています。

問 市長の公約にあるトップセールスは、今後どのように展開していくのか。

答 大手量販店において開催される青森県フェア等への参画はもちろん、女性の視点から、特に主婦層にとわだ製品の魅力をPRするなど、様々な機会を捉えてトップセールスを実践し、販売促進に努めたいと考えています。

問 ニンニク生産量日本一の取組と成果は。

答 京都高島屋にて十和田奥入瀬観光大使りんごちゃんがPRを行ったほか、東京ビッグサイトで開催された第3回宿観光旅博覧会にて、ニンニクに特化したPRを行いました。また、ふるさと自慢わがまちCM大賞に作付面積日本一の動画を応募したところ、ユニーク賞を受賞しテレビによるPRが可能となりました。



工 藤 正 廣
(柊の会)

上十三まるとネットの考え方は

上十三地域の 医療連携と強化を図る

問 地域医療連携推進法人上十三まるとネットの考え方は。

答 上十三地域の主要 4 公立病院と 1 民間病院が手を取り合い、地域医療の確保と提供を図るため、医師、看護師等の人的交流や人材育成、共同購入や物流管理等を実施します。さらには、大学医局との関わりも従来の個々の病院単位ではなく、地域の共同体として医療の確保、提供に資する取組を進めていかななくてはならないと考えています。

問 推進にあたっての問題点は。

答 県の地域医療構想においても、人口減少を背景とした患者数の減少や、医療従事者の確保、養成等が課題とされており、将来の地域医療の継続と住民の暮らしに必要な医療の提供を考えていく上で、地域医療の体制は市町村等をはじめとした関係機関の協力等を踏まえた病院間のより強固な連携と機能分化が必要であり、推進に係る課題であると考えています。

問 病院経営黒字化への市長の考えは。

答 令和 7 年度予算に赤字予算を計上しており、このままの状況で推移すると令和 7 年度決算には資金不足比率 20% を超えることから、厳しい状況の中でも、収益を伸ばし、費用を抑え、赤字額をできる限り縮減していかなければならないと考えています。

市長就任後、病院事業管理者と速やかに面談し、さらなる経営の分析を進めるよう指示したところです。その分析結果を踏まえ、引き続き病院事業管理者と意思疎通を図り、病院職員と気持ちを一つにしながら、地域住民への医療提供の維持確保に取り組んでいきたいと考えています。



竹 島 直 樹
(柊の会)

大深内小中学校を不登校特例校に

現在の取組の充実を図る

問 大深内小中学校を不登校特例校にしては。

答 文部科学省の不登校対策「COCOLOプラン」に沿った対策を実施しているほか、教育相談員を派遣し、校内に教育相談室を設置することで学級復帰に向けた支援をしています。現時点では、これらの取組の充実を図る方針であり、不登校特例校の設置は考えていません。

問 市営陸上競技場をタータンにする考えは。

答 水はけがよく雨天でも競技可能等のメリットがある一方、整備費が高額なことや、土のトラックに比べ選手の体に負担がかかるなどデメリットもあることから、総合的に勘案し、現時点ではタータン舗装にする考えはありません。

問 身寄りのない高齢者の死後事務を支援する考えは。

答 病院の入院費用等の清算や、遺品・財産整理等の死後事務については、相続人または相続財産清算人でしか対応できず、市は支援できる体制にないことから、元気なうちから終活に備えるための「とわだエンディングノート」の活用を推奨し、周知に努めています。

問 市民が知らない間に風力発電所が建設されることはないか。

答 一定規模の事業の場合、環境影響評価図書の縦覧と説明会を開催することになっているほか、県議会に上程中の条例案では、500kW 以上の事業を対象に、環境影響評価手続の前後に合意形成を図るための手続が実施される見込みです。県条例施行後は、500kW 未満の相当小規模な事業でない限り、市民が知らない間に風力発電が建設されることはない認識しています。



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)

人口減少社会での財政運営は

有効財源を活用し 将来を見据える

問 人口減少により税収が減少する一方、税負担の増加により市民の消費支出が減少し、経済の停滞が懸念される。加えて、日本銀行の金融政策の変更により市債の金利負担の増加が見込まれるなど、市財政は厳しさを増している。今後の財政運営について、どのように認識しているのか。

答 人口減少、特に生産年齢人口の減少による税収減だけではなく、人件費や物価の高騰、社会保障費の増加など、歳出の増加も懸念されることから、今後も国、県の補助金などの有効な財源を活用し、基金の維持確保を図りながら、持続可能な十和田市の将来を見据えた財政運営に努めていきたいと考えています。

問 市の借金である市債残高から貯金である基金残高を差し引いた市民1人当たりの負債額は。

答 市民1人当たり約30万6,000円となります。

算出方法

約329億円(市債残高)－約153億円(基金残高)

＝約176億円※1

約176億円÷5万7,361人(人口)※2÷約306千円

※1 令和5年度決算による

※2 令和6年末の住民基本台帳による

問 将来有権者となる若い人たちに選挙の啓発活動をしているのか。

答 毎年、小学校6年生、中学校3年生、高校3年生に啓発パンフレットを配布しています。また、市内小中学生を対象とした選挙出前講座を実施しており、令和6年度は2校で実施しています。高校生には、県選挙管理委員会で実施している選挙出前講座において模擬投票の協力を行っており、今年度は12月に実施しました。今後も引き続き啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。



斉 藤 重 美
(自民公明クラブ)

市道焼山線桂月橋までの整備状況は

色内橋東側を順次整備

問 市道焼山線の桂月橋までの整備状況は。

答 令和6年度は、色内橋東側の延長約100メートルについて工事を完了しており、令和7年度についても延長約100メートルの工事実施を予定しています。令和8年度以降についても、引き続き整備を進めていきたいと考えています。

問 埼玉県八潮市で下水道管に起因すると考えられる道路の陥没事故が発生したが、下水道管の点検、管理状況は。

答 同事故を受け、腐食のおそれと考えられる圧送管吐き出し先のマンホール内の状態とその周辺の道路等に異常がないか、職員による目視点検を緊急的に実施した結果、異常がないことを確認しホームページなどで安全を周知したところです。

腐食するおそれのある排水施設は、法令により5年に1回以上の点検が義務付けられており、令和7年度に点検を予定していましたが、前倒しで実施しました。今回点検した箇所以外では、下水道管の健全度を把握するために年次計画を立てて調査を実施しており、これまでの点検・調査の結果、異常がないとの報告を受けています。

問 水道検針業務の効率化を図るため、スマートメーターを導入しては。

答 リアルタイムでの使用水量の把握や、人員確保面での課題解決など、様々な面において効果が期待できる一方で、コストや情報セキュリティの問題等が課題として挙げられています。

導入費用を試算した結果、電子メーターの購入費用等が高額で費用対効果が見込めないため、現時点での導入は難しいと考えています。



山 田 洋 子
(柊の会)

旧十和田湖小学校の土地に 住宅の整備を

実現性等を検討していく

問 十和田湖畔地区における国立公園先端モデル事業の中で、旧十和田湖小学校の土地を活用し、働く人のための住宅を整備する考えは。

答 旧十和田湖小学校のグラウンドの活用は、住まいの確保に対して有効な提案の一つと考えますが、防災ヘリ・ドクターヘリの発着地として利用されていることから、庁内関係課から意見を聞きながら実現性等を検討していきます。

問 今年度実施した占い場の調査結果は。

答 市史編さん事業の中で十和田山信仰の年代等の解明を目的に、主に占い場周辺の湖底の予備的調査を実施したところ、銭を主体とした遺物の広がりを確認し、古いもので江戸時代以前に遡ることが判明しました。来年度は、遺物の一部引上げ等、本格的な調査を行い、結果については、調査報告会を開催し、市民の皆様にも広く紹介していきます。

問 空港や駅からの二次交通の現状は。

答 レンタカーの利用が最も多い状況であることから、さらなる誘客を図るため、策定中の次期観光戦略では、二次交通の整備を重点的課題の一つとして掲げ、ダイヤ・運行経路の調整等による利便性の向上や観光資源を活かした旅行商品の造成・磨き上げを行い、交通の魅力向上に努めていきます。

問 2026年、十和田湖は国立公園指定90周年を迎え、記念事業を実施してほしいと考えるが、前回の80周年記念行事の内容は。

答 平成28年7月から10月にかけて、十和田湖畔休屋において花火大会をはじめとした各種イベントの開催やSNSを活用したプロモーション等を実施し、期間中に約1万8,000人が来場するなど、一定の誘客が図られたものと考えています。



中 尾 利 香
(自民公明クラブ)

保育料の完全無償化を

段階的な無償化も視野に判断

問 市長が公約に掲げる子育て支援・子ども支援の充実のための3歳児未満の保育料無償化に必要な予算規模とその財源は。

答 すでに第3子以降の保育料を無償化していますが、完全無償化した場合、さらに約1億円の恒常的な財政負担が見込まれるため、各種事務事業の見直し等をはじめ、今後の財政の見通しを検証するとともに、国、県の子育て支援策の動向を注視し、段階的な無償化も視野に入れ判断していきます。

問 今年は国立公園の指定等に尽力した大町桂月の没後100年となり、大町桂月を語る会では式典を開催する予定と聞かすが、市も関わる考えは。

答 式典の詳しい内容を把握していないため、大町桂月を語る会の意向を確認します。

問 地域交流センター「とわふる」は、現代美術館のサテライトの役割もあると思うが、現代美術館との連携はどうなっているか。

答 現代美術館から中心市街地への回遊を促し、にぎわいを創出するため、現代美術館と連携し企画展を実施しているほか、作家によるパフォーマンス等の会場として利用されており、令和7年度も企画展の展示を行う予定です。

問 大深内小中学校の児童・生徒が共にスクールバスを利用できるよう、制度の見直しや試験運用を行う考えはあるか。

答 中学生のスクールバスの利用については、令和5年4月の学校統合による通学距離等への影響がないことに加え、小学生全児童が乗車した場合、座席に余裕がないことから、現時点では見直しや試験運用を行う考えはありません。



久慈年和
(立憲農民クラブ)

デジタル教科書 正式導入後の課題は

ICT環境の整備等が課題

問 令和6年度から、小学5年生から中学3年生の英語と算数・数学の授業でデジタル教科書を教材として導入し、児童生徒の学力アップにつながっているようだが、その活用状況は。

答 小学校での活用状況は、英語は「ほぼ毎日」3校、「週1回程度」5校、算数は「ほぼ毎日」3校、「週1回程度」1校です。

中学校での活用状況は、英語は「ほぼ毎日」2校、「週1回程度」1校、数学は「月に数回」1校、「学期に1回程度」1校です。

問 国では2030年度からデジタル教科書を正式に導入する予定だが、その課題は。

答 ICT環境の整備として、端末の動作不良やシステムエラーが発生した場合、授業が中断されるリスクが高まります。また、家庭で学習をする際にインターネット環境が不十分な場合、デジタル教科書を効果的に活用することができないため、全ての児童生徒が平等に学習できる環境を整えることが重要となります。

教員の指導力向上として、デジタル教材の活用度に差が生じないよう、継続的な研修体制の構築が不可欠です。また、健康面への配慮として、長時間の画面使用による児童生徒の視力低下や身体への影響が懸念されています。

問 国の調査では、県内小中学生の裸眼1.0未満の割合が、6歳児が38.7%でワースト1位となるなど、全国で大分低い結果となっている。裸眼1.0未満の児童生徒を減らす具体的な方策は。

答 各校では、タブレット端末使用時に、教員が教室の明るさや児童生徒の姿勢、タブレット端末の使用時間などの指導を行い、さらに保健だよりや参観日などを通して保護者への情報提供を行っており、今後も視力低下を防ぐための啓発活動を推進していきます。



小笠原良子
(日本共産党)

保育料無償化の実施時期は

財源の見通しを立てた上で判断

問 全ての0歳から2歳児の保育料を無償化する考えは。

答 政策的柱の一つに「子どもたちの笑顔」を掲げ、子供たちのための政策を最重要課題として取り組む考えですが、全ての3歳児未満の保育料無償化は、恒常的な財政負担の増加が見込まれ、財源の確保が重要となります。そのため、段階的な無償化も視野に入れ、各種事務事業の見直し等により財源の見通しを立てた上で、市長の任期4年間の中で判断していきます。

問 (仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業について、市長が八甲田・十和田湖・奥入瀬渓流を風力発電から守ろう連絡協議会が実施したアンケートで「反対」と回答したその想いは。

答 風力発電事業の実施には、一貫して環境に配慮した対策を講じた上で進めるべきだと考えており、アンケートについては、当時の考えに最も近い回答として反対を選びました。市長としての現在の考えは、景観、自然環境等に対する影響を懸念する声が多い状況での事業実施は、極めてハードルが高く、事業者が計画を見直す必要があると考えています。

問 訪問介護の基本報酬が下げられたことによる事業者への影響と、市独自の支援策は。

答 基本報酬が引き下げとなった一方で、特定事業所加算における区分や口腔連携強化加算の新設、介護職員等処遇改善加算の算定要件緩和がされています。

特定事業所加算については、市内の全ての訪問介護事業所が取得しており、現時点で事業所への影響はないものと認識しているため、市独自の支援策の予定はありません。



戸 来 伝
(柁の会)

市長が掲げた公約の実行計画は

任期中の実現を目指す

問 市長が掲げた公約の実現に向けた4年間の実行計画は。

答 4本の政策的柱の中、特に1つ目に掲げた「子どもたちの笑顔」の実現に向け注力し、屋内遊技場の設置や保育料の無償化を目指します。公約の一部は令和7年度当初予算案に計上しており、未着手の事業についても、既存事業の見直しなど財政健全化に配慮しながら4年間の任期中に実現を目指します。

問 保育料の無償化は、子供たちのことを考えると、すぐにでも予算計上すべきでは。

答 まずは中央病院の経営立て直しを念頭に進めていく中で、財源を確保し、時期を捉えて子供たちへの支援も必ず行いたいと考えています。

問 財政調整基金が2021年以降減り続けているが、今後4年間の見通しは。

答 財政調整基金は、年度間の財源調整や災害等の不測の事態に対処するため、一定の残高を確保する必要がありますが、想定では、毎年度5～6億円程度減少し、令和10年度には積み立ての目安額である37億円を下回る見込みです。

問 令和10年度末に37億円を下回るというのは大変な数字だと思うが、どう捉えているか。

答 危機的な状況であることから、基金の維持・確保に向け、事務事業の見直しなどしっかりと進めていきたいと考えています。

問 中央病院への繰出金についての考えは。

答 病院の経営改善がない状態では、さらなる繰り出しが必要になることから、市民の命を守る病院を地域から無くさないよう、覚悟を持って経営改善等に力を注ぎ、財源を確保しながら、できることから着実に進めていきます。

市議会・市民との意見交換会について

令和6年度の『市議会・市民との意見交換会』として、常任委員会ごとにテーマを設けて次のとおり開催しました。

委員会	日程	テーマ	対象者
観光建設常任委員会	1月28日(火)	まちづくり活性化について	十和田商工会議所青年部
民生福祉常任委員会	1月30日(木)	十和田市の今後の子育てについて	こどもの支援に関する取組をしている市民

主な意見・要望など

【まちづくり活性化について】

- ◆ふるさと納税の返礼品は体験型が少ない。
- ◆免許返納をすると市からタクシー券がもらえるが、それを知らない高齢者が多い。
- ◆稲生川のペリカン付近の道路整備を早期に実現してほしい。
- ◆健康意識向上のため、公園に運動遊具などを設置し、幅広い世代が運動できるようにしてほしい。

【十和田市の今後の子育てについて】

- ◆公園や遊具が少ない。また、公園に駐車場があったらよい。
- ◆公共交通機関が少なく、送迎が大変。
- ◆ファミリーサポートセンターは、急な利用ができない。
- ◆子供向けの分かりやすい情報の共有をしてほしい。



そのほかのご意見等はこちら⇒



常任委員会・議会運営委員会委員の改選について

今定例会の最終日に、任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の改選が行われました。各委員会の委員をお知らせします。

◎ 委員長 ○ 副委員長

総務文教常任委員会

◎ 江 渡 信 貴
○ 笹 渕 峰 尚
山 端 美樹子
竹 島 直 樹
小笠原 良 子
久 慈 年 和
工 藤 正 廣

観光建設常任委員会

◎ 今 泉 信 明
○ 中 嶋 秀 一
小山田 剛 士
中 尾 利 香
山 端 博
斉 藤 重 美
戸 来 伝

民生福祉常任委員会

◎ 山 田 洋 子
○ 太 田 正 幸
氣 田 量 子
堰野端 展 雄
小 川 洋 平
豊 川 泰 市

議会運営委員会

◎ 堰野端 展 雄
○ 斉 藤 重 美
中 尾 利 香
氣 田 量 子
久 慈 年 和
江 渡 信 貴
工 藤 正 廣
戸 来 伝

議会改革特別委員会委員の異動

令和7年2月25日付で異動がありました。

山 端 博 議員 : 辞任
豊 川 泰 市 議員 : 選任

請 願

趣旨採択となりました

- 再生可能エネルギーと地域・自然との共生に係る県条例への保護地域・保全地域拡大の追加意見提出に関する請願

採択となりました

- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する独自の財政支援制度創設に関する請願

継続審査

- （仮称）惣辺奥瀬風力発電事業に関する請願

副議長選挙

櫻田百合子副議長の議員自動失職に伴い、今定例会の開会日に選挙を行った結果、後任に山端博議員が選ばれました。

(任期：令和7年2月25日
～令和8年12月31日)



副議長
山 端 博

議会だより編集委員長あいさつ および編集後記

市役所本館の展望テラスからの155本の絶景桜と161本の松並木を楽しんでいただけましたでしょうか。

新市長になって初めての十和田市議会一般質問を傍聴した市民から「女性市長になって、堅苦しい一般質問が優しさにあふれていた」との感想をもらいました。

4月から新しいメンバーに一新する委員会があり、より良い十和田市を目指し21人の議員で市民の声を聞いて、開かれた議会に向け、良い議会だよりにしていきたいと思います。

(文責 中 尾 利 香)

議会だより編集委員会

委員長 中 尾 利 香 副委員長 竹 島 直 樹
委 員 山 端 美樹子 委 員 太 田 正 幸
〃 笹 渕 峰 尚 〃 山 端 博
〃 斉 藤 重 美 〃 江 渡 信 貴

令和7年第2回定例会の開催予定

6月 2日(月) 本会議 (開会)
6月16日(月) } 一般質問
17日(火)
18日(水)
6月20日(金) 本会議 (閉会)

※会議の開始はいずれも午前10時からです。
※各常任委員会の開催予定日は未定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

